

施設整備計画

都道府県名	北海道
市町村名	小樽市

- 1 計画名称 小樽市公立学校等施設整備計画
- 2 計画作成主体 小樽市
- 3 計画期間 平成 26 年度 ~ 平成 28 年度

4 域内の公立の義務教育諸学校等施設の整備状況について

①保有校数及び耐震化の状況等(H27.4.1現在)

保有校等	域内全棟数 (a)	(a)のうちS56年以前に建設された棟			
		(b)	耐震診断実施率	うち耐震性のある棟	うち耐震性の無い棟
小学校 24校	55棟	28棟	100%	9棟	19棟
中学校 14校	40棟	23棟	100%	8棟	15棟
高等学校 校	棟	棟	%	棟	棟
特別支援学校 校	棟	棟	%	棟	棟
幼稚園 校	棟	棟	%	棟	棟
学校給食施設					
単独校調理場 5箇所					
共同調理場 1箇所					
スポーツ施設					
学校水泳プール 6箇所					
学校武道場 箇所					
社会体育施設 18箇所					

②その他、特記すべき状況・課題

本市は、小学校24校、中学校14校の計38校の学校施設を保有しており、近年、急激な少子化により小規模な学級数の学校が増加していることから、全市的な学校の再編計画を進めている。また、老朽化及び耐震化整備の課題も抱えていることから、学校の再編と施設整備を効率よく実施していかなければならない状況である。

5 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標について

①地震、津波等の災害に備えるための整備

耐震診断については、平成16、17年度に優先度調査を実施し、その結果と今後の学校再編を勘案し、平成20年度から順次第2次診断を実施し、平成25年度末までに小学校5校、中学校4校の耐震補強工事を完了。

平成26年度は小学校1校(奥沢)、中学校3校(潮見台、朝里、銭函)の耐震診断を行い、平成27年度に奥沢小、銭函中 平成28年度に潮見台中の耐震補強工事を実施予定。

朝里中(木造・コンクリートブロック造校舎)については、耐震診断を行い、老朽化や耐震補強費等を検討した結果、補強工事は行わず、平成28年度に改築工事を実施予定。

また、手宮小学校校舎について、平成25～26年度に統合改築工事を実施し、屋内運動場については、平成27年度に統合改築工事を実施予定。

(目標耐震化率の設定)

学校区分	耐震性の無い棟		計画期間中に耐震化を図る棟数			耐震化事業実施による耐震化率の目標(%)	
		うち、Is値0.3未満等の棟数		うち補強	うち改築	(現状)	→ (目標)
小学校	19 棟	棟	4 棟	2 棟	2 棟	65.5	→ 70.5
中学校	15 棟	棟	3 棟	2 棟	1 棟	62.5	→ 85.3
高等学校	棟	棟	棟	棟	棟		→
特別支援学校	棟	棟	棟	棟	棟		→
幼稚園	棟	棟	棟	棟	棟		→

②防犯対策など安全性の確保を図る整備

③教育環境の質的な向上を図る整備

- ・稲穂小学校について、平成28年4月の統合により教室数が不足するため、内部改修工事を行う。
- ・奥沢小学校(校舎)について、耐震補強工事と併せて、外壁や屋上防水改修、内部仕上げの改修、暖房設備の更新、トイレの洋式化等の改修を行う。
- ・奥沢小学校(屋内運動場)について、耐震補強工事と併せて、外壁改修、内部仕上げの改修及び暖房設備等の更新を行う。
- ・銭函中学校(屋内運動所)について、耐震補強工事と併せ、外壁や屋根、内部仕上げの改修等を行う。
- ・手宮小学校について、屋体完成後、旧屋体を解体し、新たにグランド整備を行う。
- ・廃校となる手宮西小学校(校舎・屋体)について、高島手宮地区の統合中学校とする計画であり、外壁や屋上防水、内部仕上げ改修や設備等の更新を行う。

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

6 5の目標を達成するために必要な整備事業について

※(様式2、3)

7 5の目標に対して行う事後評価について

計画期間中に、目標の達成度合いについて計測するための指標等を検討し、計画期間経過後に、その策定した指標等に基づき目標の達成度合いを計測し、評価結果をホームページ等で公表する。